

2009年度『ブロック共同宣教司牧推進の歩み』の報告書

「ブロック・小教区での部会制の現状と課題について」

ブロック名: 京都南部東 ブロック

記入者 (河原町 教会)

提出期限2010年2月28日 提出日 2010年3月31日

2009年度の「ブロック共同宣教司牧の歩み」の報告書は、昨年に引き続き、「部会制」について、報告してください。「部会制」について、①2009年の各教会の部会の実態、②ブロックが抱える部会制の課題、③部会制が定着するため工夫、④「ブロックの部会」(たとえば、ブロックの典礼部会など)があれば、その活動についても触れてください。

①	2009年の各教会の部会の実態
	4小教区とも5部会は定期的に関われるようになってきている。但し、一部ではまだ不定期なところ、部員数が少なく、複数の部会を兼務している人が多いところなどがある。
②	ブロックが抱える部会制の課題
	小教区ごとの部会活動に格差がないのか、共通部会を通して検証し、福音宣教共同体としての組織活動、目的意識を明確にしていかなければならない。また、5部会以外の活動部をどのように捉えるかも課題の一つである。 部会制の充実発展には、次世代育成が大きな課題である。高齢化・少子化が進む中、各小教区の問題としてとらえるだけでなく、ブロック共通課題として真剣に取り組んでいかなければならない。
③	部会制が定着するため工夫
	まだまだ一部の限られた人の考えや、過去の経験、独断的な考え、決定されたことに従わない等、現実に見るとかつての信徒会組織の発想・考え方から脱却できていない部分がある。個人の意識から脱却し、共通認識として部会制度を組織的な活動として捉えることが必要である。そのために、各部会の活動を充実させ、各小教区評議会・ブロック合同部会そしてブロック会議への流れを作っていかなければならない。
④	「ブロックの部会」
	ブロックの合同部会は、5部会のうち「典礼部」「広報部」「教育部(青少年育成)」の3部会は定期的に行われるようになった。典礼合同部会では、各小教区の典礼部会でも実施しているが、ミサについての勉強が行われ正しい典礼の理解を深めているところである。実践にはまだ少し時間が必要のようだが、徐々に進行している。広報部では、共通のポスター作成、HPへの関心度調査等4教会合同での動きをするようになり、教育部でも中高生合宿等ブロック活動が進むようになってきている。残りの「施設管理部」「財務部」も第1回目の会合を開き、各小教区の共通点・違いを確認し、共有できる部分改良すべき事柄を見いだしていく必要を感じた。そのために、各合同部会それぞれが今後の目指す方向性・目的を明確にし、その内容や取り組み経過、問題点をブロック全体に積極的に広報していくことが不可欠である。